

奄美群島の世界遺産登録に関するアンケート

実施者：京都大学 農学部 食料環境経済学科 4年生

十河 哲朗

質問1

① あなたは今回奄美大島には、旅行会社のツアーを利用して来られましたか？

(はい ・ いいえ)

② 上記①で「はい」と答えた方のみにお聞きします。今回の旅行にかかった金額（交通費と宿代の合計）は、一人当たり合計いくらですか？お連れのお子様の金額が異なる場合はその金額もお書きください。また、今回の泊数も教えてください。

・一人当たりの旅費の合計：() 円
・お子様一人当たりの旅費の合計：() 円
・泊数：() 泊

③ 上記①で「いいえ」と答えた方のみにお聞きします。ご自宅から奄美大島までのお一人当たりの片道の交通費はどのくらいですか？お子様の金額が異なる場合は、その金額もお書きください。

・一人当たり片道所要費用 () 円
・お子様一人当たりの費用 () 円

④ 上記①で「いいえ」と答えた方のみにお聞きします。今回の旅行の泊数と、一泊にかかる一人当たりの宿代を教えてください。

・泊数：() 泊 一人当たりの一泊の値段：() 円

⑤ あなたのご自宅から奄美大島までの片道所要時間を教えてください。

・片道所要時間：約 () 時間 () 分

質問2

① あなたが奄美大島を訪れるのは今回で何回目ですか？

() 回目

② 上記の①で2回目以上であると回答した方のみにお聞きします。あなたが初めて奄美大島を訪れたのは何年前ですか？

・初めて奄美を訪れた年：() 年前

③ あなたは今後10年で奄美大島に何回訪れると思いますか？

・今後奄美を訪れるであろう回数：10年間で（ ）回

④ 次の選択肢のうち、奄美から失われてしまった場合に、あなたが今後奄美に来るであろう回数が減少すると感じるものすべてに丸をつけてください。

1. 山に広がる原生林 2. アマミノクロウサギなどの固有種
3. マングローブ原生林 4. 美しいサンゴ礁

⑤ 上記③でどれか一つにでも丸をつけた人のみにお聞きします。あなたが③で丸をつけたものが実際に失われてしまった場合、今後10年間であなたが奄美大島を訪れる回数は何回にまで減少すると思いますか？

・今後奄美を訪れるであろう回数：10年間で（ ）回

質問3

最後に、あなたご自身のことをお伺いします。アンケート結果の基礎データとして必要ですので、お答えください。

① あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性

② あなたの年齢を教えてください。

（ ）歳

③ あなたがお住まいの都道府県を教えてください。

（ ）

④ あなたは今回誰と奄美大島に来ましたか？

1. 家族と 2. 友人と 3. 一人で 4. 夫婦又はカップルで

⑤ あなたは今回、合計何人で奄美大島を訪れましたか？また、そのうち小学生以下の子供は何人いますか？

- ・奄美を訪れた合計人数：（ ）人
・その中の子供の人数：（ ）人

⑥ あなたの年収を教えてください。

1. 300万未満 2. 300～600万 3. 600万～900万 4. 900万以上

質問は以上になります。ありがとうございました。

質問 1

① あなたは今回奄美大島には、旅行会社のツアーを利用して来られましたか？

(はい ・ いいえ)

「はい」を選択した、つまりツアーを利用した人は 82 人で全体の 40%。「いいえ」を選択した、ツアーを利用していない人は 122 人で、全体の 60%であった。(図 1)

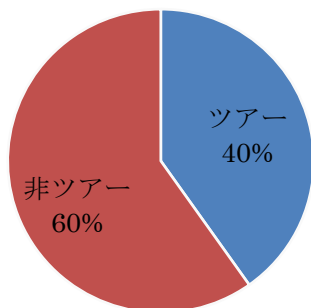


図 1 ツアーを利用した人の割合

② 上記①で「はい」と答えた方のみにお聞きします。今回の旅行にかかった金額（交通費と宿代の合計）は、一人当たり合計いくらですか？お連れのお子様の金額が異なる場合はその金額もお書きください。また、今回の泊数も教えてください。

- ・一人当たりの旅費の合計：() 円
- ・お子様一人当たりの旅費の合計：() 円
- ・泊数：() 泊

ツアーを利用した人の、一人当たり旅費の平均は 83,174 円であった。その内訳は図 2 に示すとおりである。6 万円台がもっとも多いが、3 万円から 13 万円以上までさまざまなツアーがあり、まんべんなく分布している。子供連れは見られなかった。

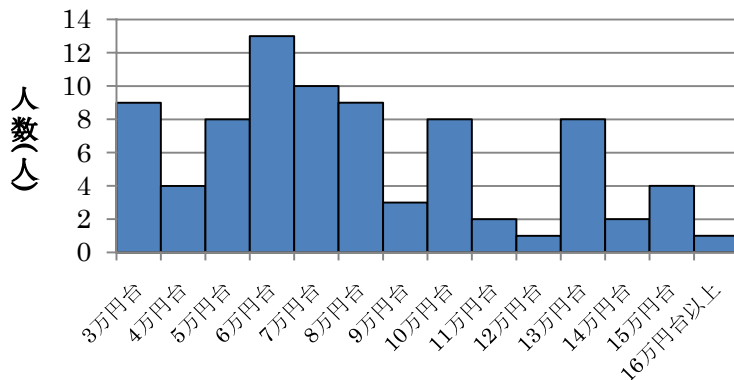


図 2 ツアー代金の分布

⑤ あなたのご自宅から奄美大島までの片道所要時間を教えてください。

・片道所要時間：約（ ）時間（ ）分

回答者の自宅から奄美大島までの所要時間の平均値は 5.98 時間であった。その分布を示したのが図 5 である。回答者の大半が自宅から 2 時間から 6 時間をかけて奄美大島を訪れているが、14 時間以上と答えた回答者が 16 人もいた。こういった回答者は海路を利用してきたものだと考えられる。

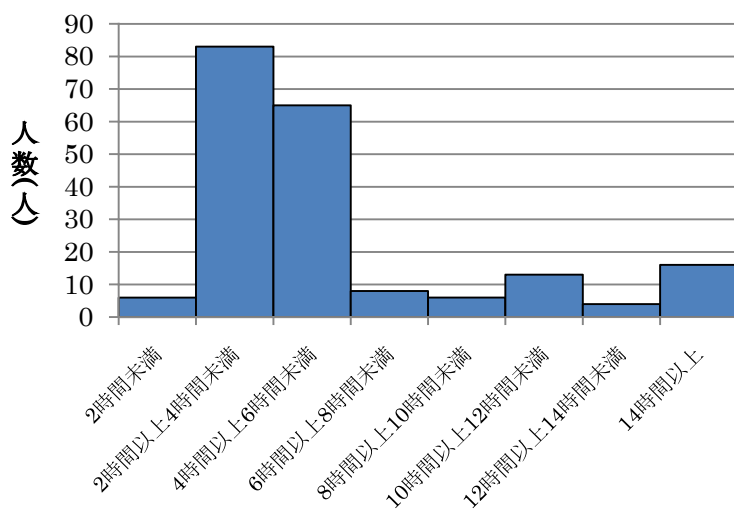


図 5 片道所要時間分布

質問 2

① あなたが奄美大島を訪れるのは今回で何回目ですか？

（ ）回目

回答者のうち「1 回目」と回答した人は 163 人、全体の 81%であった。これまで来た回数の平均値は 1.73 回で、ほとんどの人が始めて奄美大島を訪れていることがわかる。

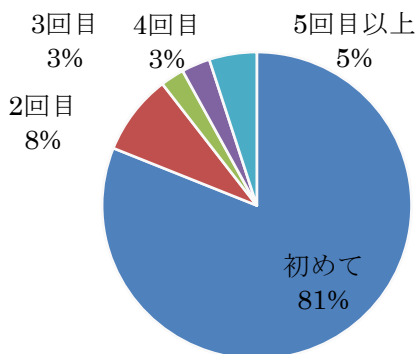


図 6 今回を含めた奄美大島への通算旅行回数

② 上記の①で 2 回目以上であると回答した方のみにお聞きします。あなたが初めて奄美大島を訪れたのは何年前ですか？

・始めて奄美を訪れた年：() 年前

質問 2 の①の回答を質問 2 の②における回答で割ることで、その回答者が 1 年に何回の頻度で奄美大島を訪れているかが分かる。その結果、これまでに 2 回以上奄美大島を訪れている回答者は、平均 1 年に 1.3 回奄美大島を訪れていることが分かった。一回にかかる労力、金額を考慮すれば、1 年に 1.3 回という頻度は高いように感じられる。1 年間あたりの奄美大島を訪れる頻度の分布を示したのが図 7 である。

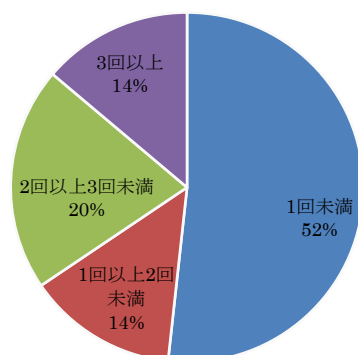


図 7 1 年間あたり訪問頻度

③ あなたは今後 10 年で奄美大島に何回訪れると思いますか？

・今後奄美を訪れるであろう回数：10 年間で () 回

回答者が今後 10 年間で奄美大島を訪れる予想回数は、平均 3.4 回であった。その内訳を示したのが図 8 である。

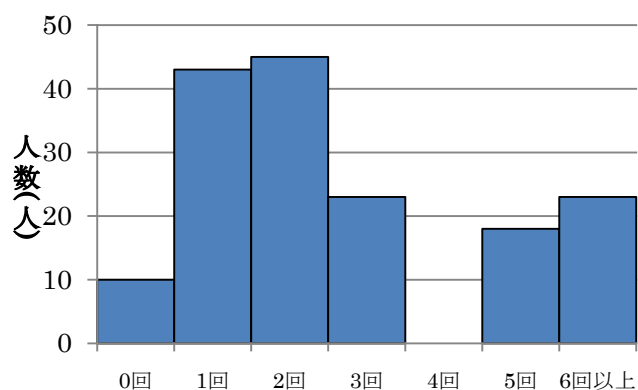


図 8 今後 10 年間の予想訪問回数

④ 次の選択肢のうち、奄美から失われてしまった場合に、あなたが今後奄美に来るであろう回数が減少すると感じるものすべてに丸をつけてください。

1. 山に広がる原生林 2. アマミノクロウサギなどの固有種
3. マングローブ原生林 4. 美しいサンゴ礁

回答者が、なくなってしまった場合に奄美大島を訪れる回数を減少させるものとして最も多く選んだのは、「美しいサンゴ礁」で、全体の 88%の人が、サンゴ礁が失われた場合、奄美大島に来る回数が減少する途感じている。それ以降は、「マングローブ原生林」「山に広がる原生林」「アマミノクロウサギなどの固有種」の順番であった。(図 9)

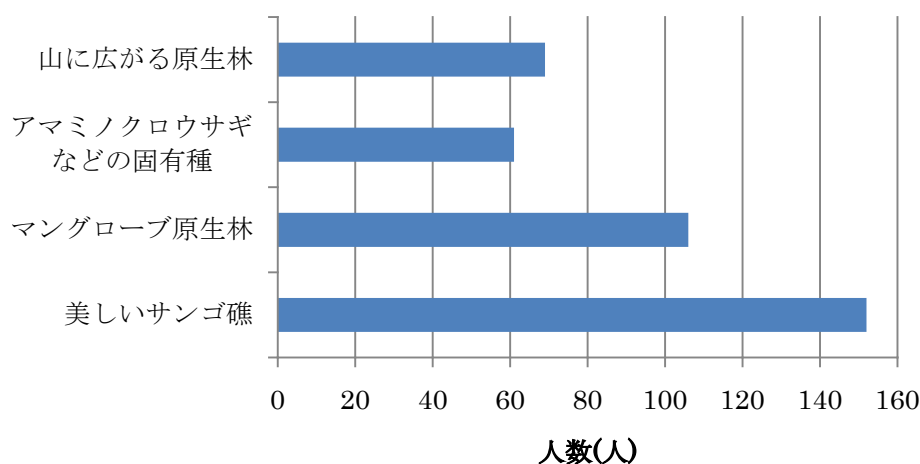


図 9 なくなった場合に、奄美大島への訪問回数が減少してしまうもの

⑤ 上記④でどれか一つにでも丸をつけた人のみにお聞きします。あなたが④で丸をつけたものが実際に失われてしまった場合、今後 10 年間であなたが奄美大島を訪れる回数は何回にまで減少すると思いますか？

・今後奄美を訪れるであろう回数：10年間で（ ）回

④で選んだ自然環境が失われてしまった場合に、回答者が今後 10 年間で奄美大島を訪れる予想回数は、1.4 回であった。③において、実際の予想訪問回数は平均 3.4 回であることから、回答者が④で選んだものが失われてしまった場合、その人が奄美大島を訪れる頻度は半分以下に減少してしまうことになる。

実際、⑤において 0 回と回答している、つまり、④で選んだものが失われた場合、もう 10 年間で 1 回も奄美大島には来ないだろうと考えている人は全体の半分を超えている。

奄美大島において、④の選択肢に挙げたような自然環境を保全することは、観光客の確保という観点から見ても、非常に重要であることが分かる。本質問の回答の分布は図 10 のとおり。

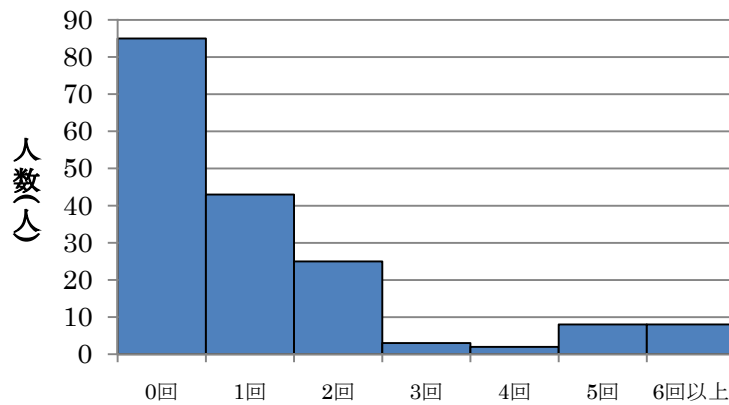


図 10 ④で選んだ環境が失われてしまった場合の今後 10 年間の予想訪問回数

質問 3

最後に、あなたご自身のことをお伺いします。アンケート結果の基礎データとして必要ですので、お答えください。

① あなたの性別は？

1. 男性	2. 女性
-------	-------

回答者の男女別割合は、男性が 45%、女性が 55%で、奄美大島への観光客には女性の方がやや多い、という結果になった。(図 11)

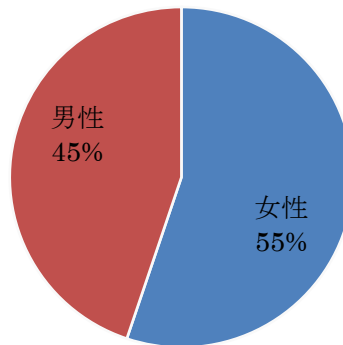


図 11 男女別割合

② あなたの年齢を教えてください。

() 歳

回答者の年齢は、20 代以下が回答者全体の 54%を占め、最も多かった。また最も少なかったのは 40 代の 2%で、これは調査を行ったのが、学生のみが夏休み期間中である 9 月であったためだと考えられる。回答者の年代別分布は図 12 に示すとおりである。

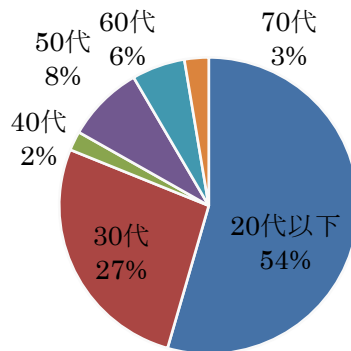


図 12 回答者の年代別割合

③ あなたがお住まいの都道府県を教えてください。

()

回答者の出発地についてまとめたものが表 1 である。また、出発地を地域別に集計したものが図 13 である。表 1 のように、回答者の出発地として最も多かったのは東京都で、2 番目に多かったのが鹿児島県であった。東京都からの観光客が多いのは、ツアーが充実しており、かつ成田空港から奄美大島空港まで直通便が就航していることが原因であると考えられる。鹿児島からの観光客が多いのは、所用費用、時間共に安く済む上に、同じ県内であることから、奄美大島の知名度が他都道府県に比べて高いことが原因であると考えられる。

表 1 回答者の出発地

東京都	30
鹿児島	25
神奈川	19
福岡	12
兵庫	13
大阪	10
千葉	9
愛知	8
京都	7
埼玉	7
熊本	6
和歌山	3
広島	3
香川	2
宮崎	2
その他	6

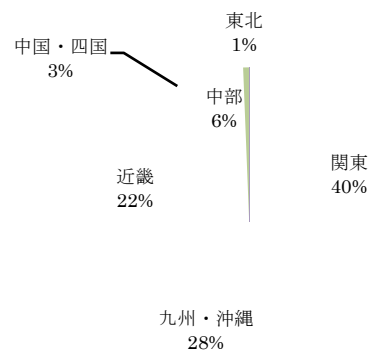


図 13 地域別割合

④ あなたは今回誰と奄美大島に来ましたか？

1. 家族と 2. 友人と 3. 一人で 4. 夫婦又はカップルで

回答者が誰と奄美大島を訪れているかについては、「友人と」という回答が最も多く、全体の47%を占めた。「夫婦又はカップルで」が26%と、次いで多かった。(図14)

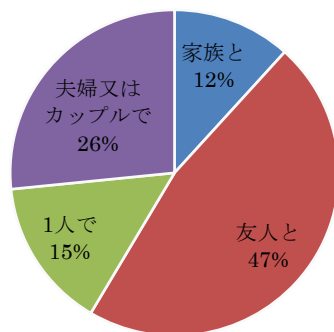


図14 回答者の旅行形態

⑤ あなたは今回、合計何人で奄美大島を訪れましたか？また、そのうち小学生以下の子供は何人いますか？

- ・奄美を訪れた合計人数：() 人
 ・その中の子供の人数：() 人

回答者の同行人数については、図15に示した通り、2人で奄美大島を訪れる人が最も多く、全体の40%を占める。また、10人以上で旅行している人が14%もいるが、これはツアーを利用して団体で行動している観光客であると考えられる。子供連れはいなかった。

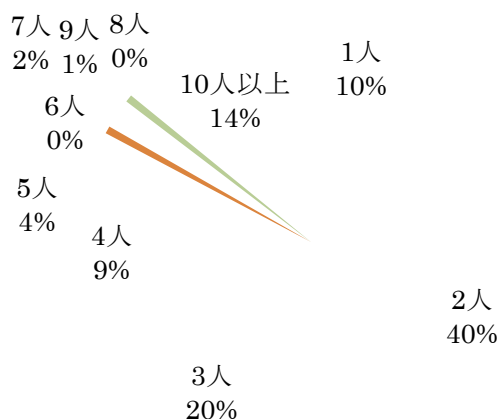


図15 回答者の同行者人数

⑥ あなたの年収を教えてください。

- | | | | |
|-----------|-------------|--------------|-----------|
| 1. 300万未満 | 2. 300～600万 | 3. 600万～900万 | 4. 900万以上 |
|-----------|-------------|--------------|-----------|

回答者の年収は「300万円以下」と答えた人が全体の46%を占め、最も多かった。調査を行った9月は、学生が多い時期であることが原因であると考えられるが、そのような状況であるにもかかわらず、「900万以上」と回答した人が全体の10%を占めた。図12の結果をふまえて考えると、奄美大島を訪れる人には、収入の少ない学生と、裕福な50代以降の人が多く分かる。

